

事例番号:300545

## 原因分析報告書要約版

産科医療補償制度  
原因分析委員会第一部会

### 1. 事例の概要

#### 1) 妊産婦等に関する情報

初産婦

#### 2) 今回の妊娠経過

特記事項なし

#### 3) 分娩のための入院時の状況

妊娠 38 週 2 日

6:35 陣痛開始、破水のため入院

#### 4) 分娩経過

妊娠 38 週 2 日

9:26 経膈分娩

#### 5) 新生児期の経過

(1) 在胎週数:38 週 2 日

(2) 出生時体重:2900g 台

(3) 臍帯動脈血ガス分析:pH 7.27、BE -7mmol/L

(4) Apgar スコア:生後 1 分 10 点、生後 5 分不明

(5) 新生児蘇生:実施なし

(6) 診断等:

生後 5 日 退院

生後 7 ヶ月 左上下肢の自発運動の少なさ、原始反射の非対称性の残存あり

(7) 頭部画像所見:

生後 7 ヶ月 頭部 MRI で右中大脳動脈支配域に沿って脳実質の萎縮および

嚢胞変性を認め陳旧性の脳梗塞の所見

## 6) 診療体制等に関する情報

- (1) 施設区分: 診療所
- (2) 関わった医療スタッフの数  
医師: 産科医 1 名  
看護スタッフ: 助産師 2 名、准看護師 1 名

## 2. 脳性麻痺発症の原因

- (1) 脳性麻痺発症の原因は、児に右中大脳動脈領域の脳梗塞が発症したことによる梗塞性・虚血性の中樞神経障害であると考ええる。
- (2) 脳梗塞の原因および発症時期は不明である。

## 3. 臨床経過に関する医学的評価

### 1) 妊娠経過

妊娠中の管理は一般的である。

### 2) 分娩経過

- (1) 妊娠 38 週 1 日に 5 分毎の腹部緊満があり入院としたこと、および入院中の対応(バイタルサインの測定、内診、分娩監視装置装着、一旦退院としたこと)は、いずれも一般的である。
- (2) 妊娠 38 週 2 日に破水感のため入院としたこと、および入院時の対応(バイタルサインの測定)は、いずれも一般的である。
- (3) 分娩経過中の管理(分娩監視装置装着、内診、分娩第Ⅱ期の酸素投与)は一般的である。
- (4) 臍帯動脈血ガス分析を実施したことは一般的である。

### 3) 新生児経過

出生時の対応およびその後の新生児管理は一般的である。

## 4. 今後の産科医療向上のために検討すべき事項

- 1) 当該分娩機関における診療行為について検討すべき事項なし。

2) 当該分娩機関における設備や診療体制について検討すべき事項

なし。

3) わが国における産科医療について検討すべき事項

(1) 学会・職能団体に対して

胎児期から新生児期に発症する脳梗塞の原因究明を推進することが望まれる。

(2) 国・地方自治体に対して

なし。